

武蔵関駅周辺において実施（予定）している事業

「駅周辺

まちづくり」と言いながら…

by shirato

■ 駅前広場計画当初から、駅利用者・商店で買い物をする客・沿線住民等周辺の意向は全く無視され、反映されていない。

■ 駅北口商店街にのみ重点・主眼を置いている。それも、主たる商店は北口広場計画区域外に残し、新参・貸店舗利用者・小規模店舗など補償問題に簡単に応じる可能性が高いと思われる商店を「北口広場計画地域」にあてている、と思われる。

■ 住宅環境の良い、武蔵関の特性を伸ばし、よりよい地域にし、次世代々世代に引き継いでいこうという、長期的展望が見られないばかりか、意気込みさえ感じられない。

■ 通勤通学・買い物・散策に安心安全に利用している本立寺脇の小径、住民にやさしい道を、車優先道路に変えようとしている。

■ 現在計画中の北口広場では狭すぎて、5路線のバスが利用できますか。特に補助230号線から広場に入る導線・出入口は狭く、タクシー乗り場などをつくるのは無理！ 乗用車での送り迎えのできる場所はおろか散策・休憩できるベンチなど、イメージ通りの完成は不可と思われる。

■ などなど……であるから西武線は地下にして、南北をフリーにするなど、少しでもロータリースペースを広げないと、だめでしょうね、……

●西武新宿線の連続立体交差事業

【事業の内容】

- 現在、東京都は武蔵関駅周辺を含む、西武新宿線の井荻駅～東伏見駅付近の連続立体交差化について、構造形式や施工方法の検討を進めています。



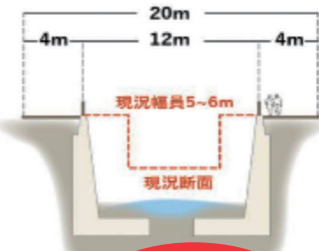
【整備事例】西武池袋線（石神井公園駅付近）※

補助230号に面する広場の出入口は、かなり狭い。安全は確保出来ているのか？

●石神井川の河川改修

【事業の内容】

- 1時間あたり75mm規模の豪雨に対応するために、河川の拡幅や調節池の整備を東京都が実施しています。
- 武蔵関駅周辺では現在、用地買収が進められています。



川幅：4 + 12 + 4m = 20m
現在の川幅8mなので倍以上の大河！！??となる

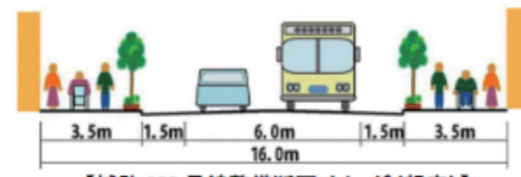


【整備事例】河川沿いの遊歩道（石神井川上御成橋付近）

●都市計画道路補助230号線の整備

【事業の内容】

- 補助230号線（新青梅街道～青梅街道間）は、西武新宿線の連続立体交差事業にあわせて、練馬区が事業着手する予定です。
- 補助230号線に一部バス路線が移る可能性があり、これにより関町庚申通りの歩行者環境向上を図ります。



【補助230号線整備断面イメージ(想定)】



【整備事例】都市計画道路補助132号線（幅員16m、石神井町二丁目付近）

補助230号の道幅：

$$3.5 + 1.5 + 6 + 3.5 + 1.5 = 16m \text{ 2車線}$$

ほんとは230号は、必要かな？
武蔵関一番の伝統あるお祭り「本立寺・お会式」そしてボロ市は、どうなるのかな…

●駅前広場の整備

【事業の内容】

- 練馬区では西武新宿線の連続立体交差事業にあわせ、現在駅周辺に分散しているバス停とタクシー乗場を集約し、ゆとりある歩行空間を確保するために駅前広場の整備を計画しています。



【整備事例】池袋線石神井公園駅 北口駅前広場

上の写真「石神井公園駅」をみると、高架下にバス、人が誘導されているように見える。武蔵関駅の場合、1階に改札口が出来るといので、1階は駅舎関係で埋まり、人の通行はできなくなると思う

武蔵関駅周辺において予定されている上記4つの事業について、次ページから、事業毎に住民目線で考えます